

# 京都市生物多様性プラン（2021-2030） に掲げる施策の取組状況等

# 本日の次第

- 1 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度 目標 1
- 2 京の生物多様性担い手宣言制度 目標 4
- 3 民間企業との連携 目標 1～4
- 4 その他事業
  - (1) 活動交流会 目標 1～4
  - (2) 地域生きもの探偵団 目標 3
  - (3) 京の生きもの生息調査 目標 4
- 5 推進プロジェクト 目標 1～4
- 6 生物多様性センター 目標 1～4

# 1 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

## (1) 団体

### ア 概要と取組状況

京都らしさを支えてきた生きものの保全、再生及び持続可能な利用の取組を実施する団体を認定し、必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣している。

- ・ **31件を認定、236者で取組** (令和5年2月末時点)

#### 檜扇(ヒオウギ)



準絶滅危惧種  
【京都府レッドデータブック2015】

アヤメ科の多年草。8～9月に黄色やオレンジの花が咲き、扇状の葉を持つことからこの名がついたとされます。

古来より厄除けの植物とされ、京都では祇園祭の期間中、民家の床の間や玄関に檜扇を飾る習慣があります。

種は黒く、射干玉(ぬばたま)と呼ばれ、和歌で「夜」や「黒」にかかる枕詞「ぬばたまの」は、この種の色に由来するともいわれています。

ぬばたまの 夜のふけゆけば 久木生ふる  
清き川原に 千鳥しば鳴く (山部赤人)

『万葉集』 巻6・925



公益財団法人京都市都市緑化協会様より株分けいただいた京都由来の自生種を栽培しております

#### 女郎花(オミナエシ)



準絶滅危惧種  
【京都府レッドデータブック2015】

日当たりのよい湿性地にはえる多年草。8～10月に、茎の頂部に黄色い小花を平らな房状に咲かせます。

秋の七草として知られており、根や花は生薬になります。

平安時代に成立した紫式部の『源氏物語』の作中、この花は何度も和歌に詠まれています。

女郎花 しをるる野辺を いづことて  
ひと夜ばかりの 宿をかりけむ

『源氏物語』 夕霧



公益財団法人京都市都市緑化協会様より株分けいただいた京都由来の自生種を栽培しております



福田金属箔粉工業株式会社による「ヒオウギ・オミナエシの保全及び啓発」

下鴨下川原町中部町内会による  
「フタバアオイの保全」

# 1 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

## (2) 個人

### ア 制度の拡充

今年度からは、より多くの方に取り組んでいただけるように個人も認定対象に

### イ 概要

希少種（フタバアオイ、ヒオウギ、ノカンゾウ、イワギボウシ）の生息域外保全文化を支える生物資源の持続可能な利用を促進



フタバアオイ



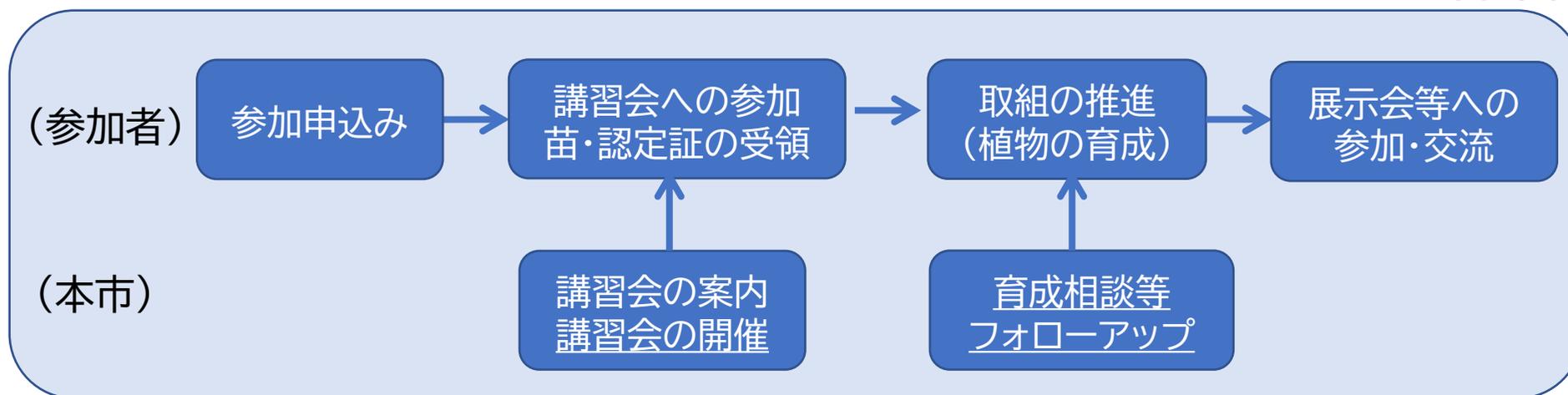
ヒオウギ



ノカンゾウ



イワギボウシ



# 1 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

## (2) 個人

### ウ 今年度の取組状況

- ・ 認定者数 計60名 (フタバアオイ17名、ノカンゾウ9名、ヒオウギ17名、イワギボウシ17名)
- ・ 育成相談受付
- ・ オンライン写真展示会を開催

令和4年11月～

#### ①概要

希少な植物の育成状況を、ポータルサイト「京・生きものミュージアム」で御紹介

#### ②参加者

認定者のうち展示会への参加を希望された12名

#### ③展示内容

育成中の植物の様子分かる写真及び参加者のコメント

【1】



三株頂き、地植えしてその内一株に花が咲きました。丁度、祇園祭の前祭の週に花をつけ、それから二ヶ月、一日置きに咲いては捻れてほんま楽しめました。来庵者に京都産の希少種やでえとプチ自慢してます。来年の祇園祭にも咲いてくれるでしょう。  
(樂成庵さん：ヒオウギ)

【2】



夏バテになりかけていましたが、こうして花期に花をつけてくれました。これからも大事に、愛すべき地球の同居者たちの環境を考えながら育てて参ります。きっかけありがとうございました。  
(ヤマシナさん：イワギボウシ)

【3】



育成講習会でいただきましたヒオウギですが順調に我が家のベランダで成長しました。7月12日に開花し、種も取得できました。2枚目の写真は10月27日撮影のもので、新しい芽がわきから出ています。  
(伏見区鴨川沿いの住人さん：ヒオウギ)

【4】



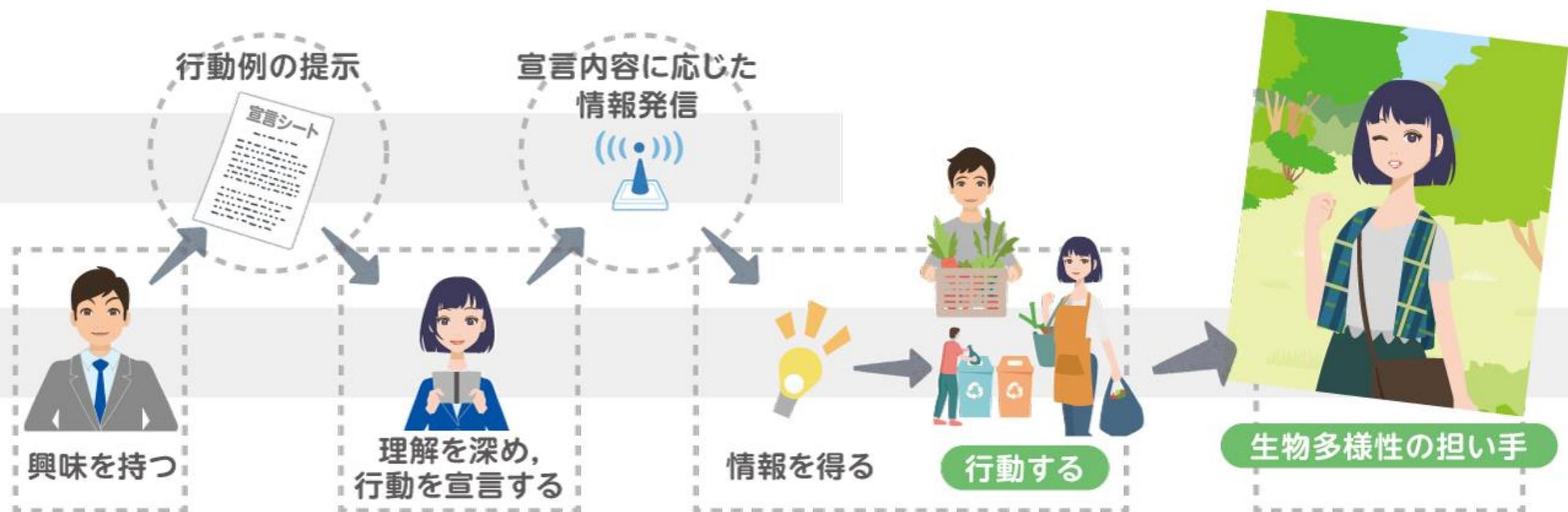
7月17日から一鉢めが開花、全鉢が次々咲いてくれました！各々個性があり、現在、一番鉢は株がいっぱい結実なし。二番鉢は結実し株なし。三番鉢は曲がって結実、株あり。同じ環境でも個性がでて楽しいです。  
(はやしさんです。さん：ヒオウギ)

## 2 京の生物多様性担い手宣言制度

### (1) 制度の概要

生物多様性保全の担い手を増やすとともに、生物多様性に関する理解の促進や、行動に移していただく機会とするため、様々な主体が取り組める行動例を示し、できる取組を宣言してもらうとともに、宣言内容に応じた情報発信を行い、「担い手を必要としている主体」と「行動したい人」とのマッチングを図る。

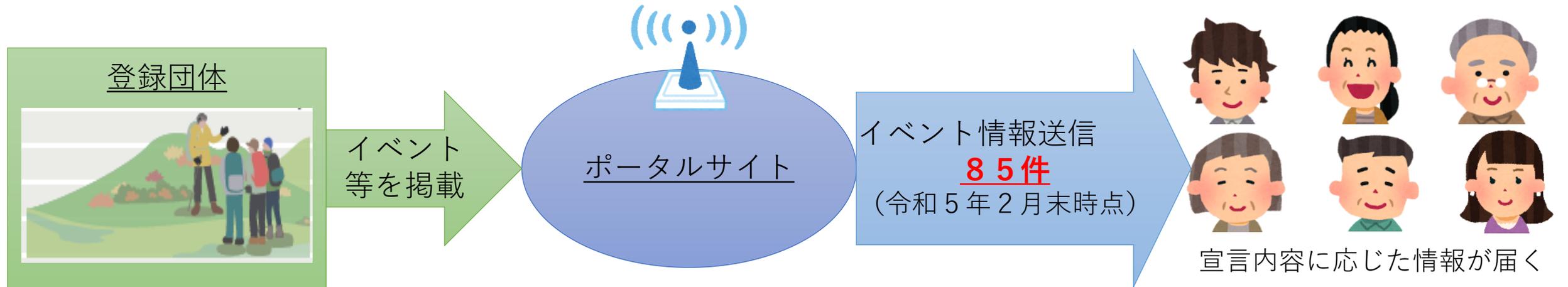
- ・ **宣言数 3,557件** (令和5年2月末時点) (目標：令和7年度末までに5万件)



## 2 京の生物多様性担い手宣言制度

### (2) 制度の運用

- 宣言者に対して宣言内容に応じたイベントや講座等の情報をメール等で随時提供し、行動を促進する。



- イベントや学校、事業者、活動団体等、あらゆるチャンネルを通じて宣言者の拡大に取り組む。

#### <周知>

- 市民しんぶん 5月号
- SNS
- 学生向けアプリ「KYO-DENT」
- 京都新聞（令和4年4月28日）
- その他各種イベント



科博連サイエンスフェスティバル

# 3 民間企業との連携

## (1) 武田薬品工業株式会社京都薬用植物園

市域における生物多様性保全の推進に関し、相互の連携を強化し、取組の促進を図るため、令和3年12月に締結した生物多様性保全に関する協定に基づき連携

### <現在の連携状況>

- ①京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度における協力
- ②さすてな京都と連携した学習プログラムの実施
- ③小学校と連携した学習プログラムの実施
- ④活動団体等への支援・協力

(雲ヶ畑・足谷 人と自然の会、チマキザサ再生委員会、京都伝統文化の森推進協議会)

- ⑤京都市衛生環境研究所における生物多様性保全の取組との連携



⑤京都市衛生環境研究所における生物多様性保全の取組との連携（左：植栽の設置、右：パネル展示）

### 3 民間企業との連携

#### (2) 日本マクドナルド株式会社及び京都市立芸術大学

私たちの生活にも密接に関わり、SDGsの目標（主に「14 海の豊かさを守ろう」、「15 陸の豊かさを守ろう」）で掲げられている「生物多様性」について考えて、行動する産学公連携プロジェクト「トレイマット デザイン コンテスト」を実施

##### <概要>

京都市立芸術大学の学生が生物多様性に関する講義を受けてデザインした作品のうち、一次選考で選出された16作品の中から、一般の方が参加するオンライン投票で最優秀賞・優秀賞を、特別賞として京都市長賞を、それぞれ決定

最優秀賞の作品は、2月8日（水曜日）から約2週間、市内のマクドナルド全店舗で実際に使用



授業の様子



受賞者の皆様

# 4 その他事業（1）活動交流会）

## （1）概要

生物多様性保全に係る事業者、活動団体等の皆様による取組を推進するとともに、市民の皆様が生物多様性保全に係る理解を深め、行動を促進することを目的に、OECMを主なテーマとして、事業者及び活動団体等の皆様による取組内容等を共有し、参加者同士が交流する活動交流会を開催

日時：令和4年12月23日（金）午後1時～午後5時30分

場所：キャンパスプラザ京都

ア 基調講演「生物多様性保全に関する世界や国内の動向～京都での取組に向けて～」

京都大学名誉教授 森本 幸裕氏

イ 取組紹介

- ・ 武田薬品工業株式会社京都薬用植物園の生物多様性に関する近年の取組  
（武田薬品工業株式会社京都薬用植物園）
- ・ 名勝渉成園での生物多様性におけた取組  
（植彌加藤造園株式会社）
- ・ お寺の森での環境学習－生物多様性についての学びとその保全  
（フィールドソサイエティ）
- ・ KES活動における生物多様性の取組（エコロジカルネットワーク）について  
（特定非営利活動法人KES環境機構・京都かんきょう株式会社）
- ・ 大原野森林公園の現状と課題  
（大原野森林公園運営管理協会）

ウ 講演者及び参加者による意見交換



上：基調講演・取組紹介、下：意見交換

## （2）開催結果

・ 会場62名、オンライン54名併せて116名が参加

## 4 その他事業（2） 地域生きもの探偵団）

### （1） 概要

市内の小学校が授業で自然観察を実施する際に、専門家を派遣し、児童に多様な生きものたちのつながり等について解説する。

従前プランの計画期間である平成27年度から8年間で、約3,200名の児童に参加いただいている。

### （2） 今年度の取組状況

- ・ 15校で計25回（742名）実施



## 4 その他事業（3）京の生きものの生息調査）

### （1）概要

市民参加のもと、市内で見られる生きものの生息状況を把握するとともに、本市の緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を評価するために実施している。

今年度からは、「生きものを通して、四季の変化を感じていただく」ため、実施期間を通年としている。

### （2）今年度の取組状況

- ・ **209件報告**（令和5年2月末時点）



ツバメ



ハグロトンボ



セミ

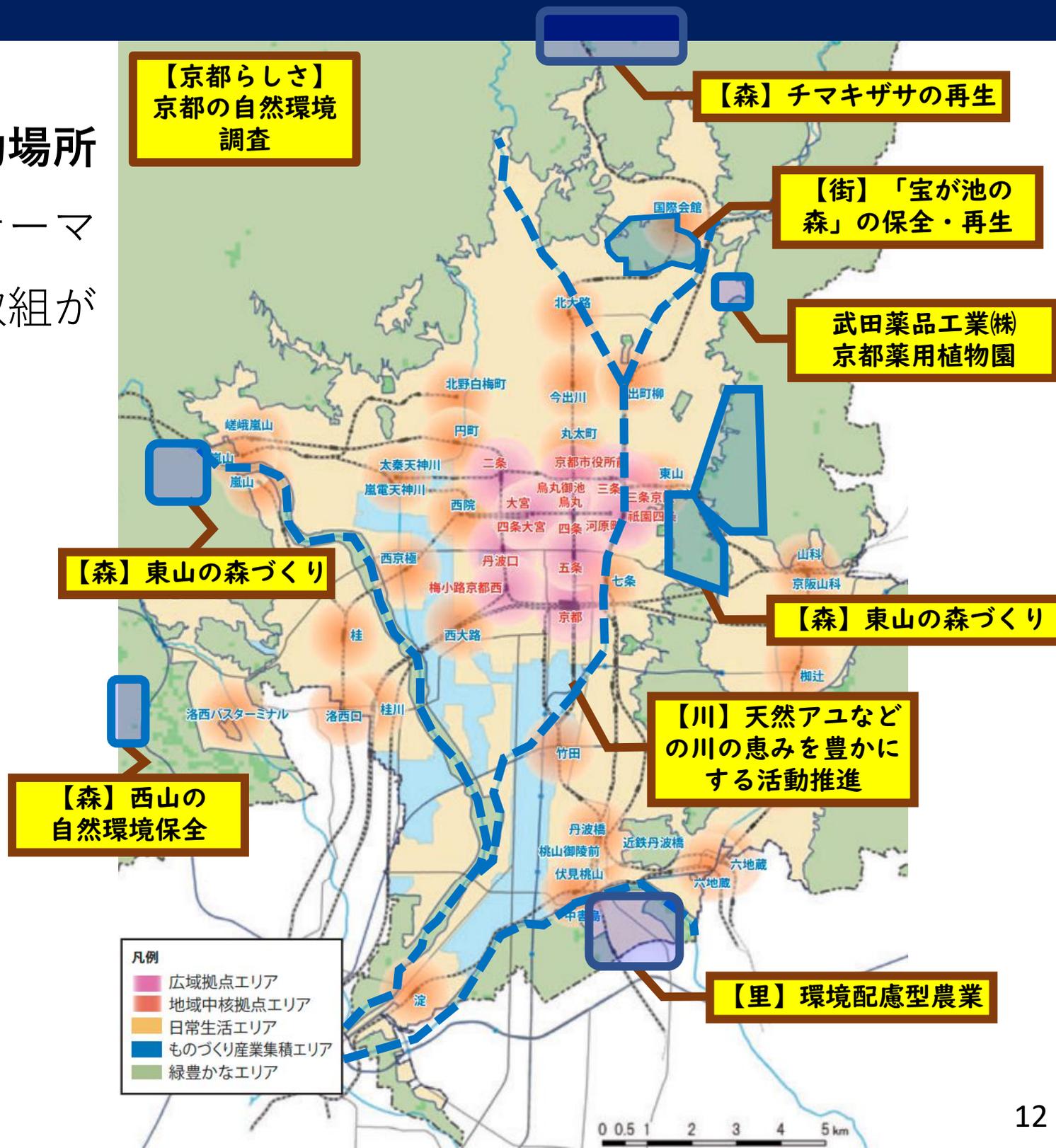


ウグイス

# 5 推進プロジェクト

## (1) 各推進プロジェクトの主な活動場所

「森」「里」「街・川」の各テーマについて、市内の多様な地域で取組が進められている。



# 5 推進プロジェクト

## (2) 各推進プロジェクトの取組状況

### ア チマキザサの再生



概要	「チマキザサ再生委員会」と協働し、絶滅の危機に瀕する花脊・別所地域のチマキザサ再生を推進する。
課題	・ 防鹿柵内のササ生育環境整備と次世代の担い手確保・技術継承支援 ・ チマキザサの流通促進と普及啓発
取組	・ チマキザサ再生事業の実施（ササ再生状況のモニタリング、再生加速のための移植試験、ササ生育環境管理、活動資金確保、人材・組織マネジメント及び次世代の担い手確保 など）



チマキザサの移植

チマキザサ採取の体験会

# 5 推進プロジェクト

## (3) 各推進プロジェクトの取組状況

### イ 東山の森づくり



概要	「京都伝統文化の森推進協議会」と協働し、東山等において多様な動植物が見られる生物多様性豊かな森づくりを推進する。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体（企業等）の参画（資金の不足）</li> <li>生物多様性豊かな森づくり</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体（企業等）の参画を促す手法の検討</li> <li>生物多様性豊かな森づくりに向けた取組の検討（モニタリング等）</li> </ul>



ポータルサイトを活用した情報発信

### ウ 西山の自然環境保全

概要	小塩山及び大原野森林公園における保全活動団体と協働し、希少な動植物が生息する西山の自然環境保全を推進する。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体の参画（担い手及び資金の不足）</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全活動への参加促進</li> </ul>

・・・（随時追加）

# 5 推進プロジェクト

## (3) 各推進プロジェクトの取組状況

### エ 「宝が池の森」の保全・再生・利活用



概要	「『宝が池の森』保全再生協議会」と協働し、宝が池とその周辺の森の保全・再生・利活用に取り組む。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>森づくりビジョンに基づく具体的な取組の検討</li> <li>生きもののモニタリングや森林管理、持続可能な利用に向けた体制整備</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の行動計画、ロードマップ等の検討</li> <li>モニタリングや森林管理などの森づくりの実践</li> </ul>



### オ 天然アユなどの川の恵みを豊かにする活動推進

概要	「京の川の恵みを活かす会」等と協働し、アユ等が生息できる環境作りや持続可能な利用を推進する。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体の参画（担い手及び資金の不足）</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークづくりによる多様な主体の参画促進</li> </ul>



・・・(随時追加)

# 5 推進プロジェクト

## (3) 各推進プロジェクトの取組状況

### カ 環境保全型農業の推進



概要	環境に配慮した農産物の生産・消費を促進することで、生物多様性保全機能をはじめとした、多面的機能が発揮される持続可能な農業を推進する。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>【生産者】環境保全型農業におけるメリットの「見える化」</li> <li>【消費者】エシカル消費の実践につながる環境づくりや情報発信</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の参画による取組の促進</li> </ul>

・・・(随時追加)



### キ 「京都らしさ」を支える生物資源調査



概要	京都らしさ（伝統、文化、産業、景観等）を支える生物資源の現状等を把握し、保全・回復の取組を講じることで、生物資源の持続可能な利用を図る。
取組	「京都らしさ」を支える生物資源調査結果の公表

・・・(随時追加)

# 6 生物多様性センター

## (1) 概要

生物多様性に関する情報を正確かつ継続的に把握し、収集された知見を基に、生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等を行うとともに、保全に係る様々な主体の連携・協力関係を構築

## (2) 事業内容・機能

収集	① 分布などの生物多様性情報の集積・データベース化機能
	② 各主体における標本・文献等資料の保有状況の把握
利活用	③ 民間企業や大学等研究機関、保全団体等の多様な主体のネットワーク機能
	④ 民間企業や大学等研究機関、保全団体等の連携による保全活動のコーディネート機能
	⑤ 民間企業や保全団体等の保全活動や事業の際の環境配慮などに関する相談機能
	⑥ 民間企業等に対する情報と専門的知識に基づく助言・提案機能
	⑦ 生物多様性に係る調査・研究
継承	⑧ 資料や情報を活用した環境学習、担い手育成及び情報発信機能